

令和 8 年 1 月 29 日

令和 7 年第 4 回瑞浪市地域公共交通協議会

瑞浪市中山道ムカオーcar 運行事業 事業効果について

1. 人員目標について

- * 目標人対し、延べ乗車人員は34人(うち有料人員33人)となり、昨年を下回る結果となった。昨年度には復のみ当日予約を可能とし5名の予約があった。インバウンドについては利用者0人であった。10月は週末ごとの雨予報が要因の一つと考えられる。
- * 愛知県の一部限定で有料の記事配信を行い、愛知県が73%であった。
- * 1人参加が70%を超えている。

2. アンケート結果について

- * 任意の QR コード読み取りアンケートを実施したが、回答は3件のみで満足なアンケート結果は得られなかった。公共交通機関が無い為に、中山道を歩きたい方にとっては、便利なシステムと言える。ウオーキングマップ等の作成配布を望まれている。

3. 今年度事業の評価について

- * 事業3年目の今年度は、インバウンド対策として申込フォームの作成、岐阜県の海外アカウントの SNS 発信も行ったが、一人も利用はなかった。ツアー参加で通訳コーディネーター同行のケースも多く、早くから旅行計画されている為、直前予約のこのシステムにそぐわないと思われる。また、マイカー利用のお客様に「きなあつ瑞浪」の駐車場をご利用いただき、経済効果を期待したが、利用は0人だった。
- * 広報では、名古屋市、春日井市、尾張旭市、小牧市、北名古屋市で、有料記事や Instagram 広告配信を18歳～45歳に女性に行い、低い年齢層に情報を届けることはできた。参加者の年齢層は全体的に高めと感じる。
- * 当初の利用人数の目標に届いていない原因としては、天候が大きく関係してくることと、昨年の申込名と照らし合わせリピーターが0人であったことである。中山道を歩きたい方は、歴史的街道を踏破が目的ではないかと考える。3 年続けての実証実験で得た結果と言える。

4. 来年度以降の事業展開について

- * 瑞浪市に来年度も「中山道活性化事業」として予算要求をすることはできたが、デマンド二次交通事業を行うかは検討中である。
- * 歩くための二次交通の需要は少数であり、今後利用が増えることなく一定数で落ち着くと思われるため、瑞浪発着ツアーなどの誘客事業も検討していきたい。
- * 瑞浪市交通会議は、1月29日(木)の為、そこでの意見を踏まえて次年度の計画を立てたいと考えている。

